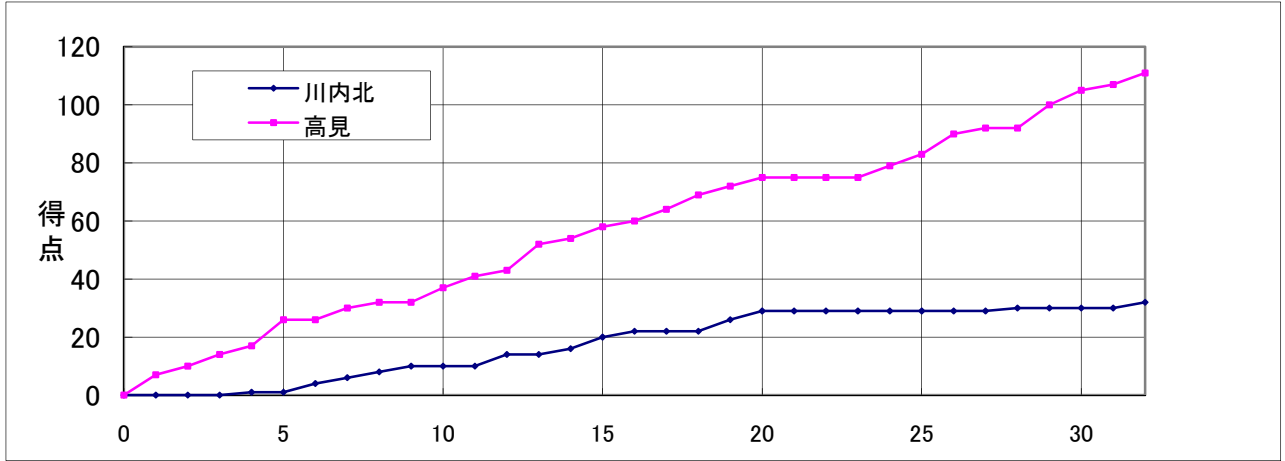


大会名	平成22年度 九州中学校体育大会 第40回九州中学校バスケットボール競技大会	A1	10:00	女子準決勝															
	期日	2010年(平成22年)8月7日(土)	川内北 32 (鹿児島1位) ●	<table border="1"> <tr><td>8</td><td>—</td><td>32</td></tr> <tr><td>14</td><td>—</td><td>28</td></tr> <tr><td>7</td><td>—</td><td>19</td></tr> <tr><td>3</td><td>—</td><td>32</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	8	—	32	14	—	28	7	—	19	3	—	32	—	—	—
				8	—	32													
14	—	28																	
7	—	19																	
3	—	32																	
—	—	—																	
会場	大分県立総合体育館	111 高見 ○ (福岡1位)																	

主審 森永 陽一 副審 新里 まどか



1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
03:03	12:24	28:07	—

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 前田 雛子 (C)	11	1	4	0	1
5	* 河本 花鈴	0	0	0	0	2
6	* 宇都 愛美子	5	1	1	0	1
7	* 中武 美香	4	0	1	2	3
8	* 瀬口 さやか	2	0	1	0	0
9	吉 永 碧	0	0	0	0	0
10	川路 麻莉菜	0	0	0	0	1
11	養母 脩花	0	0	0	0	3
12	星原 千夏	1	0	0	1	0
13	下口 弥和	2	0	1	0	0
14	天野 智恵	0	0	0	0	0
15	池ノ上 智衿	0	0	0	0	0
16	瀬戸口 由季	0	0	0	0	0
17	阿比留 杏奈	0	0	0	0	0
18	上宮田 悠夏	7	0	2	3	2
コーチ	川原 敏幸					
合計		32	2	10	6	13

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
—	—	—	—

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	高橋 幸奈 (C)	11	0	5	1	1
5	* 水上 千聖	9	3	0	0	1
6	栗原 沙妃女	6	2	0	0	2
7	二ノ宮 可南	2	0	1	0	0
8	* 荒川 沙笑子	0	0	0	0	3
9	二見 捺央	4	0	2	0	1
10	* 萩尾 千尋	17	0	8	1	0
11	中尾 イダリア	10	0	5	0	1
12	栗原 颯生	0	0	0	0	3
13	藤井 園子	0	0	0	0	0
14	* 森田 菜奈枝	23	0	9	5	0
15	永野 倫后	11	0	4	3	1
16	* 有田 かな	16	0	7	2	2
17	森 彩乃	—	—	—	—	—
18	脇 梨奈乃	2	0	1	0	0
コーチ	山崎 修					
合計		111	5	42	12	15

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

女子準決勝。昨日、延長戦の接戦を勝ち抜いた鹿児島県代表川内北中と春季九州大会覇者福岡県代表高見中のゲームが始まる。1Q、両チーム共にマンツーマンでスタート。先制したのは高見、#14森田がファールをもらいフリースローを2本とも確実に決める。オールコートマンツーマンで相手のミスを探う高見中。高見#14森田のバスケットカウントを含む連続得点で序盤早くも10点差をつける。その後も高見#5水上の3Pや#10萩尾のジャンプシュートなどで加点。残り4分57秒点差が14点と開いたところで川内北はたまたまタイムアウトを取る。更に厳しい高見のオールコートマンツーマンが続き川内北はなかなかリズムがつかめない。その後も高見#10萩尾のバスケットカウント、#5水上の3Pなどで加点し続ける。川内北は#4前田の3Pや#6宇都のドライブからジャンプシュート、#8瀬口の速攻で得点を決め返すが32-8高見リードで1Q終了。

2Q、川内北#18上宮田のドライブインで得点を決める。しかし、高見は激しいディフェンスから得点を重ね川内北の追撃を許さない。高見#5水上の3Pや#10萩尾の鮮やかなアシストパスが決まり会場を沸かす素晴らしいプレーの連続で点差を開く。一方、川内北も速い攻撃から#4前田のシュートが決まり流れを掴もうとするが、高見の激しいディフェンスの前に攻めきれず逆に加点され、残り3分36秒47-14となったところで川内北2回目のタイムアウト。川内北#4前田や#18上宮田のシュートが決まり反撃を開始したいところだったが、高見#16有田のバスケットカウントや#14森田の確立の高いジャンプシュートを立て続けに決められ、川内北の追い上げを許さず前半を60-22高見リードのまま終了した。

3Q、高見#16有田の速攻やバスケットカウント#4高橋のジャンプシュートで加点していく。川内北は#4前田のジャンプシュートで応戦するが、すぐさま高見#6栗原が3Pを連続で決め返す。川内北は点差を縮めようと積極的にシュートを狙っていくが厳しいディフェンスの前になかなか点に結びつかない。川内北はディフェンスをゾーンに切り替えリズムを変えようとするが高見の速い攻撃を抑えることができない。その後も高見#15永野が積極的な攻めを見せ、ドライブインでの得点やファールをもらいフリースローを2本とも決め加点し79-29高見リードで3Q終了。

4Q、高見はディフェンスの手を緩めずオールコートマンツーマンで川内北を苦しめる。高見は#11中尾の連続得点や#4高橋のゴール下でのシュートやフリースローなどで着実に加点していく。高見#9二見のシュートが決まり94-30となったところで川内北は後半1回目のタイムアウトを取る。川内北はオールコートマンツーマンで応戦しようとするが高見は#11中尾、#9二見、#4高橋の連続シュートで点差が広がる。川内北#13が速攻から得点を決める。お互い一進一退の攻防が続くそのまま4Qが終了する。111-32で高見が決勝へ進出を決めた。

© 2010 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.0063

記事者 高山, 石田 (所属) 大分県中体連バスケット専門部